

西東京市介護保険事業計画（第7期）策定のための
事業者アンケート調査 ご協力をお願い

皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

西東京市では、平成29年度に見直しを予定しております「西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第7期）」の基礎資料として、サービス提供事業者アンケート調査を実施することになりました。

お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成 28 年 11 月

西東京市長 丸山 浩一

記入についてのお願い

1. この調査は、平成28年11月1日現在でお答えください。
2. 本調査で「事業所」とは、同じ所在地であれば複数のサービスを提供していても同一の事業所としています。
3. お答えは、特に説明のない限り、あてはまる番号を○で囲んでください。
4. お答えが「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、〔 〕内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
5. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印（⇒）など、次にお答えいただく質問番号への案内にご注意ください。

調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

〇月〇日（〇）までに ご返送ください。

調査についてご質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。

【連絡先】 西東京市役所 保谷庁舎 健康福祉部 高齢者支援課 電話 042 (438) 4032 (直通)
(受付時間 8:30~12:00、13:00~17:00 (土日祝を除く))

貴事業所についておたずねします

問1 貴事業所の所在地はどこですか。(1つに○)

1. 西東京市内

2. 西東京市外

問2 貴事業所で提供している介護保険サービス(予防含む)は何ですか。(いくつでも○)

- | | |
|---|---|
| <p>1. 居宅介護支援</p> <p>2. 訪問介護</p> <p>3. 訪問入浴介護</p> <p>4. 訪問看護</p> <p>5. 訪問リハビリテーション</p> <p>6. 居宅療養管理指導</p> <p>7. 通所介護</p> <p>8. 通所リハビリテーション</p> <p>9. 短期入所生活介護</p> <p>10. 短期入所療養介護</p> <p>11. 特定施設入居者生活介護</p> | <p>12. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)</p> <p>13. 介護老人保健施設(老人保健施設)</p> <p>14. 介護療養型医療施設</p> <p>15. 地域密着型通所介護</p> <p>16. 小規模多機能型居宅介護</p> <p>17. 夜間対応型訪問介護</p> <p>18. 認知症対応型通所介護</p> <p>19. 認知症対応型共同生活介護</p> <p>20. 福祉用具貸与・購入</p> <p>21. 住宅改修</p> <p>22. 訪問型サービス(総合事業)</p> <p>23. 通所型サービス(総合事業)</p> |
|---|---|

問3 次の介護保険外サービスのうち、貴事業所で提供しているものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| <p>1. 介護保険サービスの上乗せサービス
(支給限度基準額を超えて利用したサービスや時間延長して利用したサービス)</p> <p>2. 家事援助等サービス
(掃除、洗濯、調理、買物等の代行、ごみ出し、簡単な大工仕事、庭仕事・ペットの散歩など)</p> <p>3. 訪問サービス
(訪問理美容サービス、訪問マッサージ、訪問趣味講座、訪問生活健康相談など)</p> <p>4. 配食サービス
(調理した食事を居住施設まで配達するサービス)</p> <p>5. 物販等サービス
(日常生活用品や食材の通信販売・移動販売又は貸与・お届けなど)</p> <p>6. 安否確認・緊急通報サービス
(定期訪問サービス、定期的な電話サービス、緊急通報・安否確認機器販売・貸与・設置)</p> <p>7. 移動支援・付き添いサービス
(移送サービス、通院・入院・外出付き添い等)</p> <p>8. 通い・サロンサービス
(喫茶・レストラン・会食サービス、生活健康講座・相談・指導サービス、趣味講座・レクリエーションなど)</p> <p>9. 金銭管理・契約代行サービス
(成年後見、葬儀対応、残存家財整理、身元保証支援、金銭管理に関わる支援など)</p> <p>10. その他 ()</p> <p>11. いずれも提供していない</p> |
|---|

問4 貴事業所の利用者についておたずねします。平成28年11月1日時点における利用者総数と西東京市民の利用者数を要介護度別にご記入ください。

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
利用者総数	人	人	人	人	人	人	人
うち、西東京市民	人	人	人	人	人	人	人

問5 貴事業所の職員について、職種別、居住地別（市内・市外）、常勤・非常勤別に人数を記入してください。

※1人が複数の資格を持っている場合は、重複して数えてください。ただし、職員総人数は、実際の職員数と同じになるように記入してください（内訳合計と総人数の一致は不要です）。

区 分	居住地			
	西東京市内		西東京市外	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤
介護支援専門員				
介護福祉士				
介護職員初任者研修修了者（旧ホームヘルパー2級）				
ホームヘルパー1級・介護職員基礎研修修了者				
介護職員実務者研修修了者				
介護職（資格なし）				
社会福祉士				
医師				
看護師・准看護師				
保健師				
薬剤師				
理学療法士				
作業療法士				
言語聴覚士				
機能訓練指導員				
管理栄養士・栄養士				
音楽療法士				
あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師				
事務職				
その他（ ）				
職員総人数	常勤：西東京市内 人、西東京市外 人		非常勤：西東京市内 人、西東京市外 人	

事業運営についておたずねします

問6 円滑な事業運営を進めていくうえで、現在、特に困難に感じていることは何ですか。
(いくつでも○)

1. 従事者の確保が難しい
2. 利用者の確保が難しい
3. 事務作業が多い
4. 施設・設備の改善が難しい
5. 必要な情報の入手に支障がある
6. 従事者の資質向上を図ることが難しい
7. 利用者や家族の制度に対する理解が進んでいない
8. 市町村等との連携を図ることが難しい
9. その他〔
10. 特に困難に感じることはない

問7 職員の充足状況についてお答えください。(1つに○)

1. 過剰 2. 適正 3. やや不足 4. 不足 5. 大いに不足

問8 人材を確保するためにどのような取り組みを行っていますか。

(1) 現在行っている取り組み (いくつでも○)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 新規採用枠の拡大 | 9. 職員間の助け合い制度 |
| 2. 中途採用枠の拡大 | (具体的に：) |
| 3. 就業時間の見直し | 10. 同事業所内で人員確保 |
| 4. 福利厚生の実施 | 11. 社外の協力体制の整備 |
| 5. 賃金面の充実 | 12. 求人広告掲載 |
| 6. 研修会への参加支援 | 13. その他 |
| 7. 資格取得の支援 | (具体的に：) |
| 8. 苦情・相談体制の実施 | |

(2) 今後行いたい取り組み (いくつでも○)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 新規採用枠の拡大 | 9. 職員間の助け合い制度 |
| 2. 中途採用枠の拡大 | (具体的に：) |
| 3. 就業時間の見直し | 10. 同事業所内で人員確保 |
| 4. 福利厚生の実施 | 11. 社外の協力体制の整備 |
| 5. 賃金面の充実 | 12. 求人広告掲載 |
| 6. 研修会への参加支援 | 13. その他 |
| 7. 資格取得の支援 | (具体的に：) |
| 8. 苦情・相談体制の実施 | |

問9 貴事業所において、特に確保の困難な職種はどれですか。(いくつでも○)

1. 介護支援専門員	8. 保健師	15. 音楽療法士
2. 介護福祉士	9. 薬剤師	16. あん摩マッサージ 指圧師・鍼灸師
3. 訪問介護員	10. 理学療法士	17. 事務職
4. 介護職（資格なし）	11. 作業療法士	18. その他
5. 社会福祉士	12. 言語聴覚士	()
6. 医師	13. 機能訓練指導員	
7. 看護師・准看護師	14. 管理栄養士・栄養士	19. 特にない

問10 職員の早期離職防止や定着促進のためにどのような取り組みを行っていますか。(いくつでも○)

(労働時間・勤務負担軽減)

1. 労働時間（時間帯・総労働時間）の希望を聞いている
2. 時間外労働時間の削減に取り組んでいる
3. 年次有給休暇等の取得を促進している

(職員の健康支援)

4. 職員の健康教育や身体的健康対策（生活習慣病対策等）に取り組んでいる
5. 感染症予防対策に取り組んでいる

(いじめ・ハラスメント)

6. いじめやハラスメント等へ対応できる体制を整備している
7. 職員のメンタルヘルス対策に取り組んでいる

(仕事と子育て・介護等の両立支援)

8. 育児・介護等の休暇制度の活用を奨励している
9. 子育て支援（託児所を設ける、保育費用の助成など）や介護支援を行っている
10. 多様な勤務形態（短時間勤務、短日勤務、交代制勤務など）を活用している

(キャリア形成支援)

11. 新人の指導担当・アドバイザーを置いている（メンター制度など）
12. キャリアパスを作成している
13. 能力や仕事ぶりを評価し、配置や処遇に反映している
14. キャリアに応じた給与体系を整備している

(職場風土・環境整備、定着支援)

15. 経営者や役員との意見交換がしやすい職場環境づくりを行っている
16. 定期的なミーティング等の実施による、風通しのよい職場環境づくりを行っている
17. 福利厚生を充実させている

(業務の効率化・負担軽減)

18. 情報通信機器を活用した業務の効率化、省力化を推進している
19. その他 ()
20. 特に行っていない

問 11 キャリア支援についておたずねします。

(1) 貴事業所では、どのような研修や資格取得支援などを行っていますか。(いくつでも○)

- | | |
|------------------------------------|--|
| 1. 採用を前提とした資格取得支援の研修(採用前) | |
| 2. 事業所内での採用時研修(新任研修) | |
| 3. 事業所内での資格取得支援の研修(既採用職員向け) | |
| 4. 事業所内での定期的な現任研修の実施 | |
| 5. 事業所内での事例検討会や、外部研修受講者による報告会 | |
| 6. 西東京市介護サービス事業者連絡会が実施する研修等への参加を奨励 | |
| 7. 東京都社会福祉協議会が実施している研修等への参加を奨励 | |
| 8. その他民間団体が実施している研修等への参加を奨励 | |
| 9. 業務として勤務時間中の研修参加を承認 | |
| 10. 研修受講費用の補助 | |
| 11. 資格試験に合格した場合、受験料や登録費用等を負担 | |
| 12. 資格試験に合格した場合の報奨金 | |
| 13. その他() | |
| 14. 特に行っていない | |

(2) 事業所内での講習会・研修は十分実施できていると思いますか。できていない場合は理由を具体的にお書きください。(1つに○)

- | | |
|-----------------------|--|
| 1. 十分実施できている | |
| 2. 十分ではないが実施できている | |
| 3. ほとんど実施できていない〔理由: 〕 | |
| 4. その他〔 〕 | |

(3) 外部の研修や事例検討、勉強会について職員が積極的に参加できるよう支援していますか。できていない場合は理由を具体的にお書きください。(1つに○)

- | | |
|----------------------|--|
| 1. 支援している | |
| 2. 十分でないが支援している | |
| 3. ほとんど支援していない〔理由: 〕 | |
| 4. 支援したいができない〔理由: 〕 | |
| 5. その他〔 〕 | |

問 12 貴事業所では、介護職員によるたんの吸引など、医療的ケアへの対応は実施していますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. すでに実施している | 3. 対応は考えていない |
| 2. 検討している | 4. その他() |

問 13 医療機関との連携について、貴事業所として取り組んでいることはありますか。(いくつかでも○)

1. 医療機関から利用者の健康管理や処置について助言を受けている
2. 往診をしてくれる医師・医療機関がいる
3. 急変時の受入を依頼できる病院を確保している
4. 提携している診療所や病院があり、入院を受け入れてもらっている
5. 職員への研修講師などをお願いしている
6. ケースカンファレンスへ参加している
7. 緊急時の対応に同行している
8. その他 ()
9. 特にない

問 14 医療機関との連携を進めるうえでの課題は何ですか。(いくつかでも○)

1. 医療機関の協力が得られない
2. 情報共有システムが確立されていない
3. 共有すべき情報がわからない
4. 連携のための事務負担が大きい
5. 連携の必要性を感じていない
6. その他 ()

問 15 平成27年度の貴事業所の介護事業会計についておたずねします。介護事業収支は、どのような状況ですか。(1つに○)

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. 大幅な黒字である | 4. やや赤字である |
| 2. やや黒字である | 5. 大幅な赤字である |
| 3. ほぼ収支が均衡している | |

サービスの質の向上に向けた取組みについておたずねします

問 16 これまでに利用者や家族からどのような苦情を受けていますか。(いくつかでも○)

1. サービス内容に関するもの
2. 利用手続に関するもの
3. 職員の態度に関するもの
4. 施設・設備に関するもの
5. 保険外負担(その他日常生活費等)に関するもの
6. その他 ()
7. 特に苦情を受けていない

問 17 今後、第三者評価を実施する予定はありますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1. 実施の予定がある | 3. すでに実施した〔実施年月： 年 月〕 |
| 2. 実施の予定はない ⇒付問へ | |

付問 問 17 で「2」と回答した事業所におたずねします。
その理由は次のうちどれですか。(1つに○)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 費用がかかりすぎるから | 4. サービスの改善に結びつくかわからないから |
| 2. メリットがわからないから | 5. その他 |
| 3. 評価機関の選び方がわからないから [] | |

問 18 サービスの質の向上に向けて、貴事業所で課題としてあげられること、また、今後取り組むこと（または続けること）はありますか。ア～二のそれぞれの項目について、あてはまる欄に○をつけてください。

	現在、課題としてとりあげられること	今後取り組むこと（または続けること）
ア. 事業所の経営理念の明確化	1	2
イ. 従業員への経営理念の周知徹底	1	2
ウ. 職場内での人材育成・教育の充実	1	2
エ. ケアカンファレンスへの積極的な参加	1	2
オ. 専門職の定着・確保	1	2
カ. 利用者にとって有益な情報開示の推進	1	2
キ. 利用者にわかりやすい契約書の工夫	1	2
ク. 利用者の納得と意思の尊重	1	2
ケ. 利用者のプライバシーの保護・個人情報管理の徹底	1	2
コ. 各種マニュアルの作成	1	2
サ. 苦情処理対応	1	2
シ. サービスの自己評価の取り組み	1	2
ス. 従業員の労働条件	1	2
セ. 提供するサービスの量的拡大	1	2
ソ. 提供するサービスエリアの拡大	1	2
タ. 福祉系事業所との連携	1	2
チ. 医療・保健系事業所との連携	1	2
ツ. ボランティア活動団体との連携	1	2
テ. ボランティア受入の拡大	1	2
ト. 家族等介護者とのつながり	1	2
ナ. ユニットケアや個室化の推進	1	2
二. その他（具体的に下の欄にご記入ください）	1	2

【その他の内容】具体的にご記入ください。

●現在、課題としてあげられること

●今後取り組むこと（または続けること）

問 19 貴事業所の職員は、利用者の望む生活（自立支援）を意識したサービス提供を行っていると思いますか。（1つに○）

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 思う | 4. 思わない |
| 2. 少しは思う | 5. 考えたことはない |
| 3. あまり思わない | |

今後の運営方針についておたずねします

問 20 貴事業所で提供しているサービスについて、今後、どのように考えていますか。（1つに○）

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1. 現状維持で考えている | 3. 事業規模の縮小を考えている ⇒付問へ |
| 2. 事業規模の拡大を考えている | 4. その他〔 〕 |

付問 問 20 で「3」と回答した事業所におたずねします。

事業規模の縮小を考えている理由は次のうちどれですか。（2つまで○）

- | |
|------------------------------------|
| 1. 事業展開するのに十分な需要が見込まれないため |
| 2. 競合の事業所に利用者が集中する傾向がみられるため |
| 3. 新たな事業所が参入してきているため |
| 4. 利用者負担を考慮して、利用者がサービスの利用を控えているため |
| 5. 医療保険などのほかの制度を利用するケースが見込み以上に多いため |
| 6. 必要な従事者を確保できないため |
| 7. 介護報酬単価が低く、利益が見込まれないため |
| 8. その他〔 〕 |

問 21 貴事業所では、仕事としての介護のイメージアップを図るためには、どのような取り組みが必要とお考えですか。（3つまでに○）

- | |
|---|
| 1. 介護職員を中学校・高校に派遣し、介護の仕事の魅力、やりがいをPRする |
| 2. 中学生や高校生を対象にした介護の魅力に掲載した冊子の作成・配布する |
| 3. 学生の進路選択資料の作成など、介護職場情報の提供を通じた介護の魅力向上を図る |
| 4. 介護の日（11月11日）などにおいて、介護保険サービスや介護の仕事をPRする |
| 5. 中学生・高校生を対象に施設等介護の現場の見学会を開催する |
| 6. 中学生・高校生を対象にボランティア体験の機会を提供する |
| 7. 高校生を対象にした施設等介護の現場での職場体験（インターンシップ）を行う |
| 8. その他〔 〕 |
| 9. 特にない |

地域包括支援センターについておたずねします

問 22 西東京市の地域包括支援センターの4つの役割について、どの程度機能していると思いますか。(ア～エそれぞれ1つずつ○)

	よく機能している	機能している	どちらともいえない	あまり機能していない	ほとんど機能していない	わからない
ア. 介護予防事業のケアマネジメント	1	2	3	4	5	6
イ. 介護保険外サービスを含む、高齢者や家族に対する総合的な相談・支援	1	2	3	4	5	6
ウ. 被保険者に対する虐待の防止、早期発見等の権利擁護事業	1	2	3	4	5	6
エ. 保健医療の向上及び福祉の増進を包括的・継続的に支援	1	2	3	4	5	6

付問 問 22 で回答した理由を教えてください。また、地域包括支援センターについて、ご意見・ご要望があれば、ご自由にお書きください。

西東京市への意向についておたずねします

問 23 採用・求人募集について、西東京市にどのようなことを望みますか。(3つまでに○)

1. 都内で合同採用面接会を開催	6. 市内事業者の介護求人情報システムを構築
2. 地方で合同採用面接会を開催	7. 介護の仕事に興味を持つ人の介護初任者研修の受講費用を助成
3. 求人広告費用を助成	8. その他 ()
4. ハローワークへの働きかけ	9. 特になし
5. 求職フェア等のイベント開催	

問 24 人材の確保・育成や早期離職防止と定着促進のために、問 23 であげたようなさまざまな取り組み以外で、次のうち有効と考えられるものは何ですか。（○は3つまで）

1. 人材育成や研修の専門家の派遣
2. 離職率改善事例の紹介
3. 離職した介護従事者などの潜在的有資格者が職場復帰した事例の紹介
4. 福利厚生の実施支援
5. 研修時の代替職員確保の支援
6. 処遇改善のための助成
7. 退職金や企業年金など各種諸手当の助成
8. 介護職員のための住宅確保・助成
9. メンタルヘルスや雇用環境に関する相談窓口の設置
10. ICT等の活用支援（業務の効率化、利用者情報の共有、医療連携、介護連携など）
11. 介護ロボットの活用支援
12. 資格を必要としない生活支援の担い手（市民）の育成
13. 人材育成や処遇改善の取り組みについて優秀な事業者への表彰
14. その他（）

問 25 今後保険者としての西東京市に対し、事業者として望むことは次のうちどれですか。（3つまで○）

1. 苦情相談への指導・助言・援助
2. ケアプランの指導
3. 施設等の空き情報の提供
4. 処遇困難ケースの指導・助言・援助
5. 介護保険制度の最新情報提供
6. 研修会やケース検討会の開催
7. 医療と介護の連携
8. 被保険者・家族への制度の周知
9. 事業者に対するサービスの質の評価
10. その他
11. 特になし

問 26 「介護保険制度」全体をよりよくするため西東京市が力を入れるべきだと思うことは、次のうちどれですか。（3つまで○）

1. サービス事業者の質の向上につとめること
2. 介護支援専門員やヘルパーなどの人材を育成すること
3. 在宅サービスの充実に力を入れること
4. 住民主体による介護予防やサービス提供の取り組みを推進すること
5. 介護保険外サービスの充実を図ること
6. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）などの施設をふやしていくこと
7. 高齢期になっても住み続けられるよう、多様な住まい方の施策を充実すること
8. 利用料や保険料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減すること
9. 介護保険の目的や利用について、市民への啓発・PRを進めること
10. 寝たきりにならないよう、介護予防サービスに力を入れること
11. 地域全体で介護を支援する仕組みを充実すること
12. 困ったときに気軽に介護相談ができる場所をふやすこと
13. 市民、事業者等の意見を集約し、東京都や国に提言していくこと
14. その他〔
15. わからない

問 27 介護保険事業について、ご意見、ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

記入もれがないかどうかもう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、○月○日（○）までにお近くのポストに投函してください。